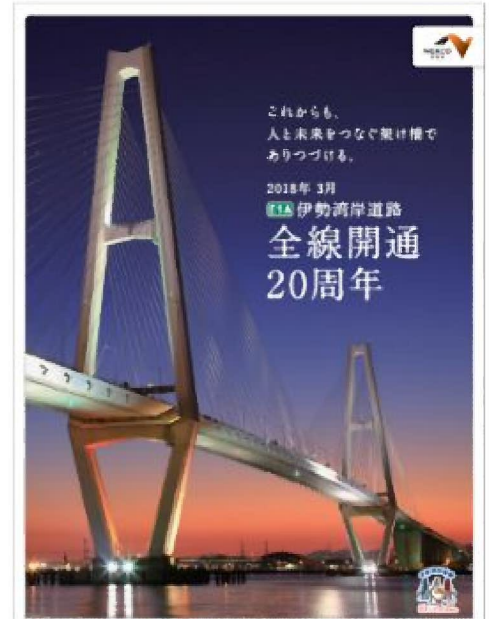


## E1A 伊勢湾岸道路（東海IC～飛島IC）のストック効果 ～3月30日に全線開通20周年を迎えます～

NEXCO中日本（名古屋支社・名古屋市中区、支社長・<sup>こんどうきよひさ</sup>近藤清久）は、2018年3月30日にE1A伊勢湾岸道路（東海IC～飛島IC間）全線開通20周年を迎えるにあたり、伊勢湾岸道路のストック効果をとりとめましたので、お知らせします。

伊勢湾岸道路は開通当初は名古屋港の港湾道路として利用されてきましたが、高速道路ネットワークが広がっていくことで東京～名古屋～大阪を結ぶ大動脈としての役割を担うようになりました。東名高速道路豊田ジャンクション（JCT）～名神高速道路草津JCT間では、東名・名神ルートに加え、2008年に伊勢湾岸・新名神ルートも確保され、事故や災害、渋滞時の代替路が確保され物流・移動の定時性が向上しています。

また、東京～名古屋～大阪間の交通の確保のみならず、地域の観光や産業の活性化にも貢献しています。



### 《ストック効果》

20年間の経済波及効果<sup>※</sup>は愛知県、三重県だけでみても、**約12兆円に達し**、愛知県及び三重県全体の経済成長の**年平均約1.4%の底上げ**に貢献

※道路整備による地域間の所要時間変化から、民間の消費、企業の設備投資等の経済活動による波及効果を算出

#### ＜主なストック効果＞

##### ①沿線地域の観光振興を支援

- ・沿線に位置するナガシマリゾートの観光入込客数が**約1.6倍**に増加

##### ②日本の基幹産業である自動車産業に貢献

- ・完成車の**輸送が1日3往復から4往復**可能に

##### ③中部圏東西軸のダブルネットワークにより物流経路が大きく変化

- ・伊勢湾岸道路の**交通量分担率が約6倍**に増加

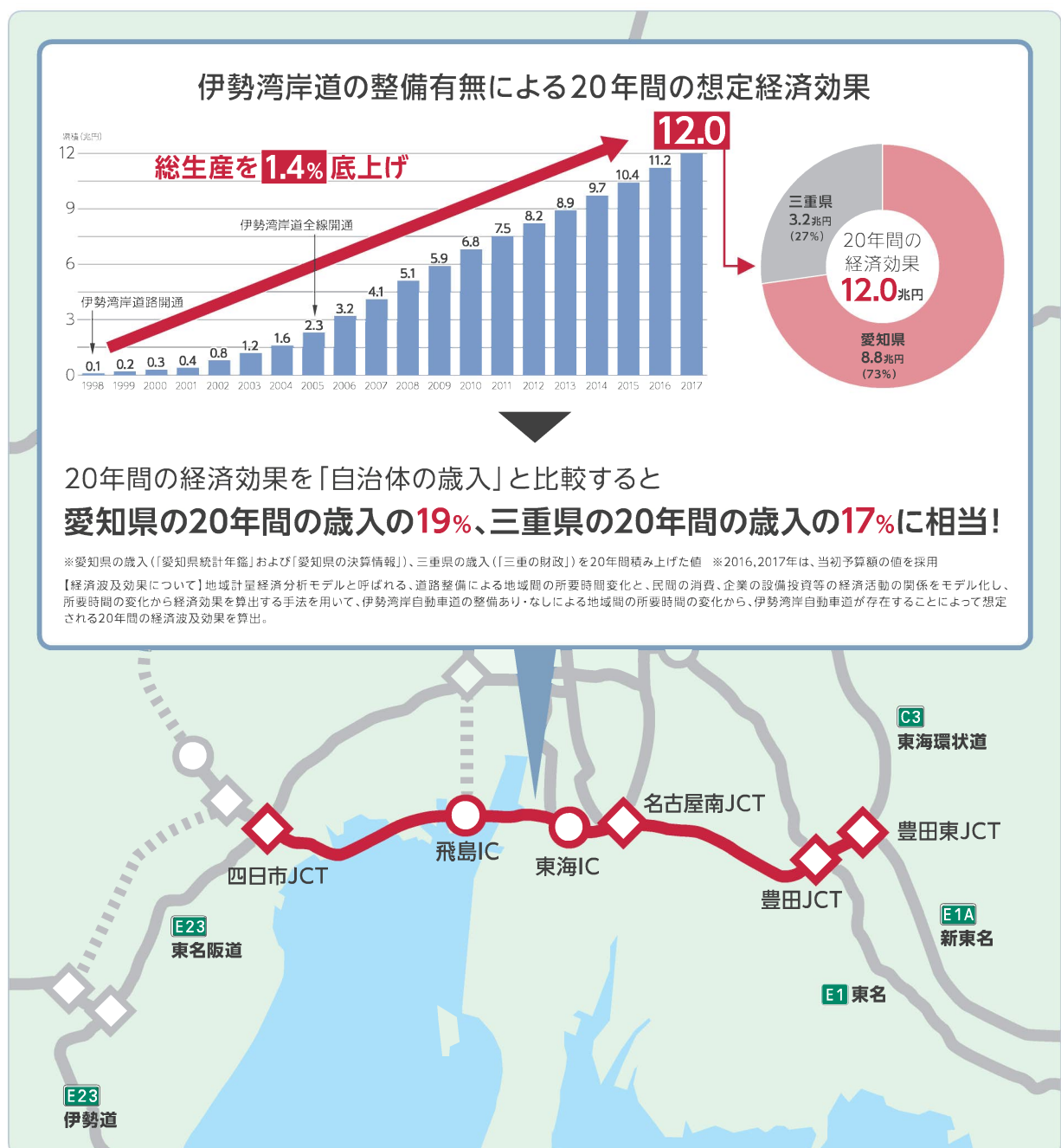
##### ④交通量が大幅に増加

- ・交通量が1日平均約9万台、開通20年間で**約8倍**に増加

# 全線開通20年間の 経済波及効果は12兆円。

## ■ 地域活性化に貢献

伊勢湾岸道の整備による20年間の経済波及効果は、愛知県、三重県だけでみても約12兆円に達します。これは、愛知県および三重県全体の経済を、年平均約1.4%も底上げしてきたことに値します。

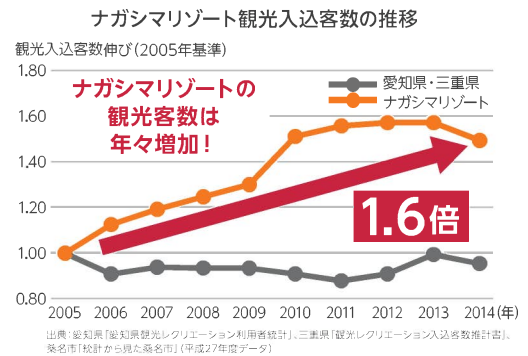


## 主なストック効果①

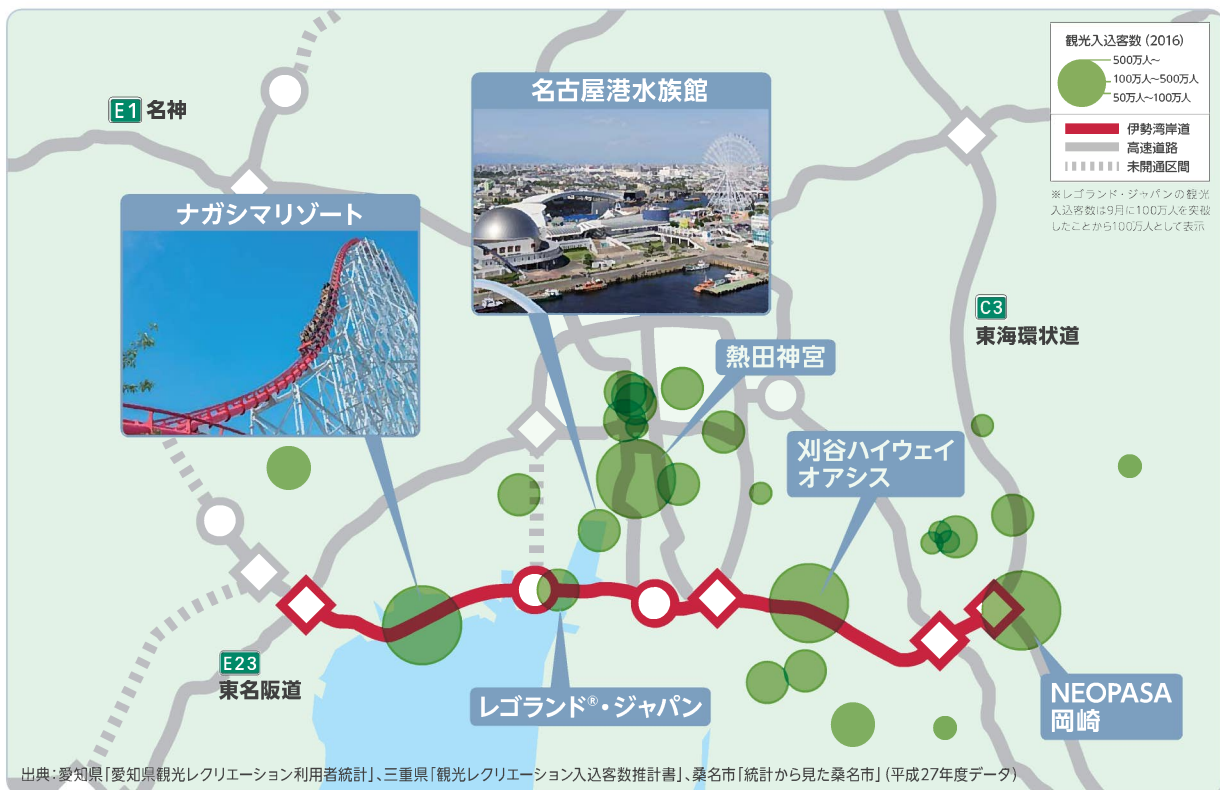
# ナガシマリゾートの 観光入込客数が約1.6倍に増加。

### ■ 沿線地域の観光振興を支援

伊勢湾岸道沿線には、ナガシマリゾートや名古屋港水族館など、多くの観光施設や人気のテーマパークが立地しています。特にナガシマリゾートの観光客数は、全線開通後に年々増加しており、沿線地域の観光活性化に貢献しています。



### ■ 観光施設の立地状況



### User's voice



ナガシマリゾート

ナガシマリゾートには、中学校や高等学校の遠足も含めて、数多くのお客さまにご来場いただいております。伊勢湾岸道が全線開通する以前は、近隣からのお客さまが増えておりましたが、全線開通により静岡県東部など広域からもご来場いただけるようになりました。

出典: 2018.1 NEXCO中日本ヒアリング調査

## 主なストック効果②

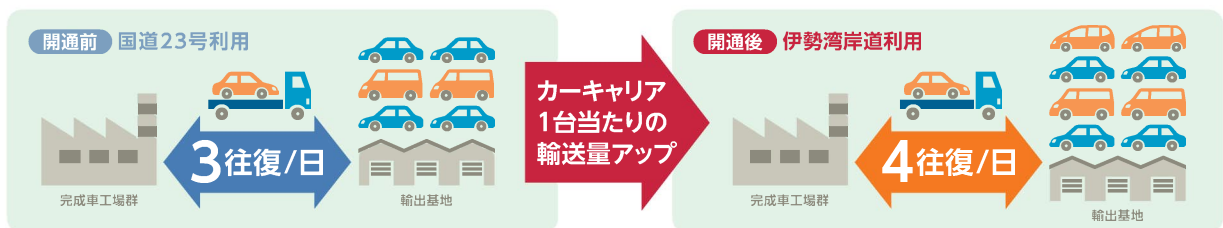
# 自動車輸送が、 1日3往復から4往復可能に。



### ■ 日本の基幹産業のひとつ、自動車産業に貢献

日本を代表する自動車メーカーの完成車工場では、最終組み立てを行い、完成した自動車をカーキャリアが1日800台運行して名古屋港へ運び、海外等へ輸出しています。伊勢湾岸道は、輸送時間の短縮によるカーキャリア1台当たりの完成車輸送量の増加に貢献しています。

### ■ 自動車メーカーの完成車輸出の流れ



### User's voice



自動車メーカー

完成車工場群で組み立てた自動車は、海外等へ運搬するために輸出基地へカーキャリアで搬送しています。完成車工場と輸出基地の輸送は、伊勢湾岸道の整備により、1日3往復から4往復することが可能となり、カーキャリア1台当たりの輸送量が増加しました。

出典：2017.10 NEXCO中日本ヒアリング調査



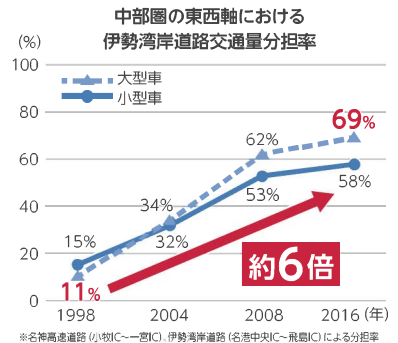
## 主なストック効果③

# 中部圏の東西軸における 交通量分担率が約6倍に増加。

■ 中部東西軸におけるダブルネットワークにより、  
物流経路が大きく変化



伊勢湾岸道（豊田東JCT～四日市JCT）の開通により、東名・名神ルートから伊勢湾岸・新名神ルートへの転換が図られるなど、東京～名古屋～大阪を結ぶ我が国の物流の大動脈を担うようになりました。事故や災害などによる通行止めや渋滞時の代替路線が確保され、移動の定時性が向上しました。



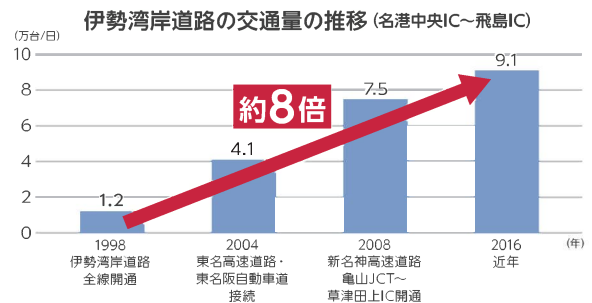
## 主なストック効果④

# 伊勢湾岸道路の交通量は、 開通20年で約8倍に増加。



### ■ 交通量が大幅に増加

伊勢湾岸道路は、ネットワークの延伸に伴い交通量が増加し、現在では1日平均約9万台の交通量で、開通当初と比較して約8倍まで増加しています。



### ■ 全線開通までの歩み

